

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	45	風呂場、洗面所周辺の棚の作りが十分でなく、安全に配慮した、洗剤、消毒液などの置き場所とは言いえない。	風呂場、洗面所周辺の整備を含む住環境全体の見直し。	来年度予算に計上し、実施予定。	3ヶ月
2	33	利用者高齢化に伴い医療依存度の増加。緊急、急変時の対応。終末期に向けた、施設の基本方針の樹立。	重度化への指針作りと、医療連携体制の早期整備。 職員の一般的医療知識、技術の習得、スキルアップ	職員間の話し合い 関係者間の話し合いにより基本方針の樹立 利用者、家族への説明、理解を得る。 訪問看護ステーションとの連携	3ヶ月
3	23	利用者のつづやきの把握の周知と介護への反映が、十分と言えない。	記録簿の見直し。 スタッフ間の洞察力を養う。	他施設の記録簿など参考にしつつ検討中。 各種研修、勉強会への参加。	3ヶ月
4	3	地域住民とのつながり、日常的交流が十分とは言えない現状。	認知症理解の地域への浸透。 認知症介護の知識の地域への還元及び啓蒙活動の実施。	地域活動、行事への積極的参加の継続。 来年度の課題とし、地域の向け学習会などを開催予定。	12ヶ月
5					

注) 項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。